

## 公務員試験体験談(2):男子(園芸学研究科博士課程)

### 1. 受験先(国・都道府県・市町村名などを記入):

山形県職員大学卒業程度試験 試験区分:一般農業

### 2. 合格先:

山形県職員大学卒業程度試験 試験区分:一般農業

### 3. 公務員対策を始めた時期:

2008年4月下旬

### 4. 専門学校, 通信教育講座等の利用の状況:

利用していない

### 5. 受験の動機:

「農業をもっと盛りたてたい」という気持ちを活かせる仕事に就きたい, と常々思っていた。当初, 大学に残って農業経済研究に従事するつもりでいたが, 現場でしか分からないことがあるのでは? と思い, 公務員試験を受けることにした。民間では自分の志とマッチするところがなく, かつ現場で働きたいと思ったので, 地方上級試験のみに絞ることにした。

どこの県にしようか迷ったが,

①地方のコミュニティから『「食」を中心とした自立した経済』を提言したいと思った

②よって, 「農業を産業の中心に据えて盛りたてていく」と強いメッセージを発している地域で働きたいと思った

③伝統食材である「米」の生産地(自分が米好きなことも要因)の3点を考慮した結果, 山形県を受けることにした。

### 6. 公務員対策で苦労したこと:

専門試験用の市販テキストがほとんどないことには大変苦労した。

お勧めのテキストは次の通り

・「作物学総論」堀江武・吉田智彦等 朝倉書店 ¥4300

・「植物生理学」桜井英博・柴岡弘朗等 培風館 ¥3200

特に「作物学総論」は, 植物に関する知識を体系的にまとめてあるので, 入門書として適していると思う。あとの細かい知識は「農学基礎シリーズ」で補っていけば充分だと思う。

独学の場合, 広範な分野の学問書を購入し勉強する必要があるが, 学問書なので難解なものも多く, 勉強に時間と労力がかかる。また, 労力がかかる割に, 非常に効率が悪いというのが個人的な感想。自分の場合, 運よく後輩からテキストを頂くことができたので, 最後の詰めが効率的に行なえた。これが非常に大きかったと思う。やはり農業分野の講座だけでも予備校には通っておく必要があるように思った。

また, 説明会などに行けなかったもので, 試験会場や2次試験の雰囲気当日までつかめなかったことは辛かった。私の場合, 初めて行く会場でかなり緊張していたので, 個人面接で力

を発揮することができなかった。やはり、受験先の説明会などを受けるなどの対策を講じる必要はあるように思う。

#### 7. 公務員試験を乗り切るための心構え:

- 昨今の試験は「人物重視」の傾向であるようですが、試験を受けた後の感触でもそのように感じました。なので、2次試験対策(面接試験対策)はしっかりと行う必要があります。特に留意することは、人事担当者に対する各種アンケート等によると採用面接官が一番見るのは「人柄」である、ということです。この点を前提に対策をたてるとよいと思います。(面接官による個人差は当然あるとは思いますが)
- 「人柄」をアピールする際に、回りの大人の方々に聞いて個人的に重要だと思ったことは
  - ・「素直」
  - ・「やる気, 熱意」
  - ・「コミュニケーション能力」です。当然、「僕はとてもやる気があります」と口にしてもだめです。行動で示す必要があります。そこで、私は以下の3つを心がけることにしました。
  - ①面接カード・論述試験・面接を通じて、首尾一貫した主張を行うこと
  - ②常に笑顔でいること
  - ③自分の考えを必ず答えに盛り込む
- 私の場合、個人面接の際の面接官が3人で、そのうちの一人が厳しい質問を連発する「圧迫面接官」でした。かなり厳しいことを聞かれましたが、もし分からないことを聞かれても「不勉強で正確な知識がないのですが…」等と前置きをおいて笑顔で自分の考えを述べました。そうして、分からないことを認めつつも自分の意見を述べることを通じて「素直」と「コミュニケーション能力」をアピールしました。今思い返しても、質問の大半は「自分の考えについて」と「明確な答えのないもの」だったのでこうした作戦は有効だったように思います。
- また、具体的なレベルの質問が多かったので以下の2点を押さえる必要があります。
  - ①「なぜこの県にしたのか？」を常に自問自答し、いつ聞かれても明確な答えを出せるレベルにしておく:首尾一貫した主張をするためにも必ず明確にしておく
  - ②「県では何をするのか」を明確にしておき、実際の職種とリンクさせる等具体的なレベルまで落としこむ:『農業行政職で農業を中心とした産業群の形成促進を試みたい』等々その際、「実際に実行可能かどうか？」ではなく、あくまで「具体的なビジョンを持つ」ことが肝要であると感じました。

最後になりますが、公務員対策は多岐にわたるので、楽しんで合格を勝ち取れるものではないと思います。ただし、モチベーションをしっかりと保ち、効率的な対策を立て、根気よく取り組んでいけば、必ず合格することができると思います。